

# 第19期(2014年3月期) 決算説明会

トレックス・セミコンダクター株式会社

ただ今よりトレックス・セミコンダクター株式会社、第19期決算説明会を始めさせていただきます。

私(わたくし)、当社の代表取締役である藤阪知之です。よろしくお願い致します。

1 会社概要	事業内容 電源ICへの思い 主力製品群	特徴 提供価値
2 市場動向	アナログ半導体市場規模 アナログ電源IC市場規模 当社の位置付け	競合動向
3 第19期の業績 (2014年3月期)	これまでの業績 売上推移 営業利益推移	利益改善要因 業績進捗
4 今後の展望	中期経営目標 ターゲットアプリケーション 新製品開発計画	開発力強化方針 販売力強化方針
5 還元方針	基本方針 配当額と配当性向	

本日は、1章で、まず会社の概要をご紹介したのち、我々がどんな市場に属しているのか、その中での位置付けはどうなっているかを2章で説明致します。

3章では、ご紹介した市場の中で、これまでどんな業績を上げてきたのか、また今期はどんな業績を上げているのかをご紹介します。

この中では、過去の停滞からどのように業績を改善してきたのかについても併せて説明する予定です。

続いて、今後の展望を、どんな市場をターゲットにどんな製品を開発し、そのために何を実施していくのかについてご紹介致します。

最後に、株主のみなさまへの還元方針について説明させていただきます。

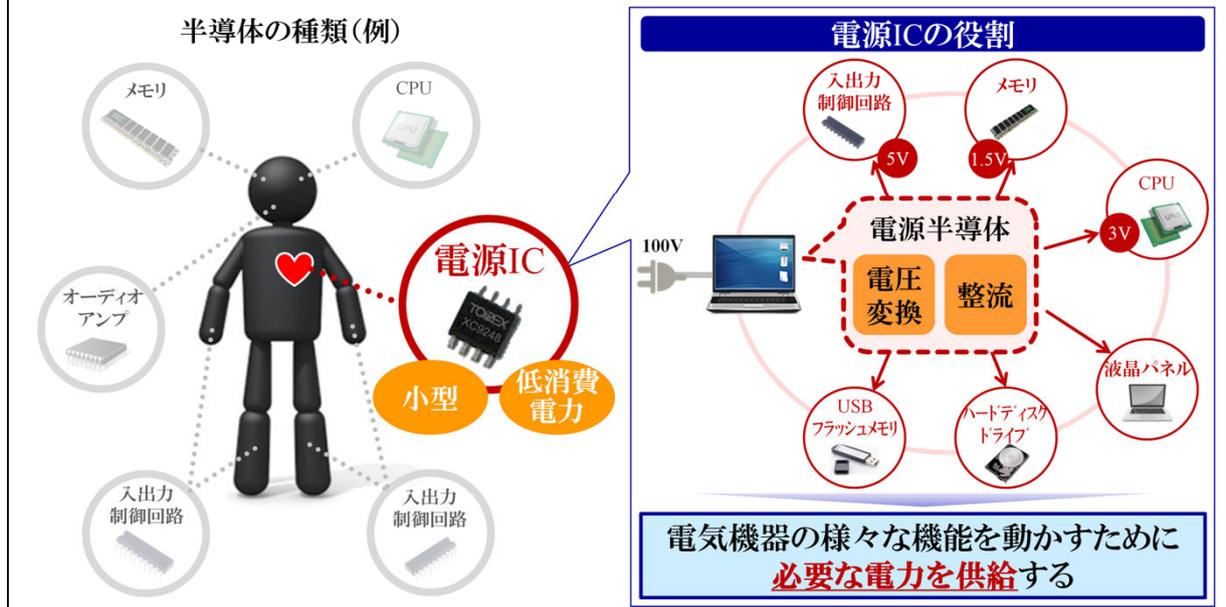
<h1>1 会社概要</h1>	<p>事業内容 電源ICへの想い 主力製品群</p>	<p>特徴 提供価値</p>
<h2>2 市場動向</h2>	<p>アナログ半導体市場規模 アナログ電源IC市場規模 当社の位置付け</p>	<p>競合動向</p>
<h2>3 第19期の業績 (2014年3月期)</h2>	<p>これまでの業績 売上推移 営業利益推移</p>	<p>利益改善要因 業績進捗</p>
<h2>4 今後の展望</h2>	<p>中期経営目標 ターゲットアプリケーション 新製品開発計画</p>	<p>開発力強化方針 販売力強化方針</p>
<h2>5 還元方針</h2>	<p>基本方針 配当額と配当性向</p>	

それでは、会社の概要をご紹介します。

# TOREXは何をやっている会社なのか？

まず、トレックスとは何をやっている会社なのか？

電気機器の「心臓」の役割を担う、**小型・低消費電力**（業界トップクラス）の電源ICを開発・販売しています。



我々は、電気機器の「心臓」の役割を担う電源ICを開発・販売しています。

世の中には様々な半導体がありますが、人間の体で例えると、それらは様々な臓器や手足に該当します。

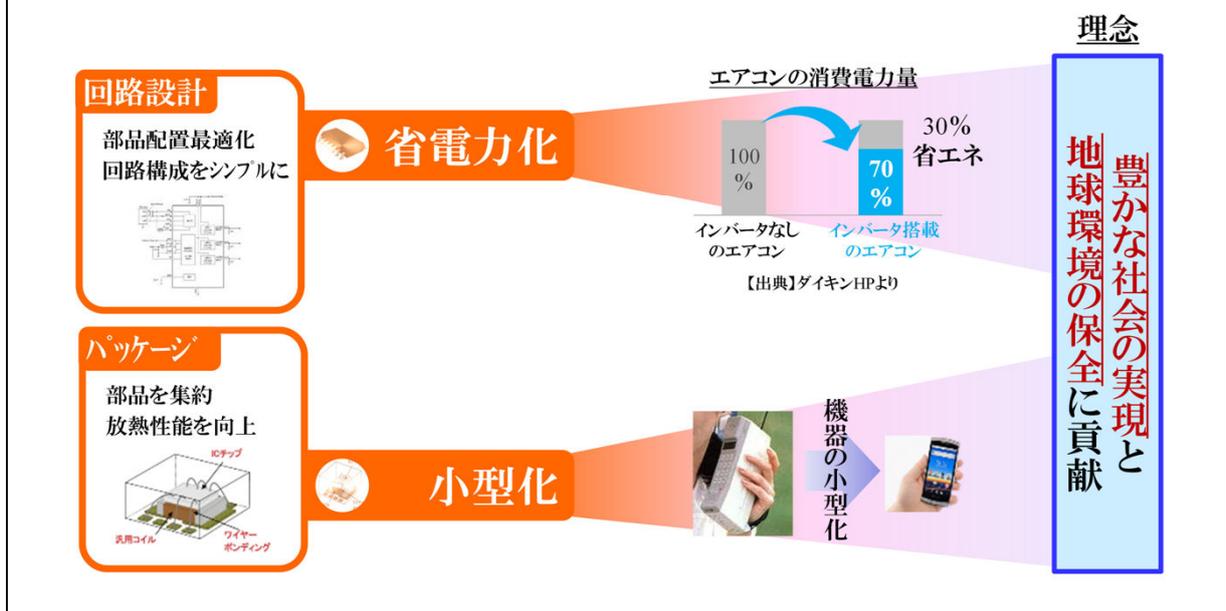
ただ、人間の体は血液がなければ動きません。電気機器においては、人間の血液に相当する電力を供給している半導体、それが電源ICです。

我々は、電気機器の様々な機能を動かすために必要な電力を供給する、小型・低消費電力の電源ICを開発・販売しています。

# なぜ電源ICなのか？

それでは、なぜ電源ICをやっているのか？

電気機器の小型化・省電力化に“電源”という観点から貢献することで企業理念の体現を目指しています。



スライドの右側に掲げている文章が、我々の企業理念の一部でございます。

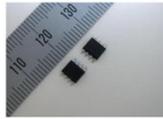
我々の得意とする回路設計やパッケージの技術を活かし、電気機器の小型化・省電力化に電源という観点から貢献していくことで、企業理念の体現を目指しています。

具体的にどんな製品なのか？

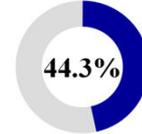
では、具体的にどんな製品を開発・販売しているのか？

VR、DC/DC、VDが当社の主力製品です。

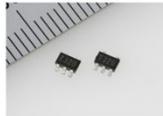
## VR



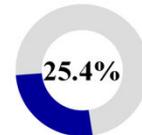
Voltage Regulatorの略(電圧レギュレータ)  
入力電圧を希望の出力電圧に変換



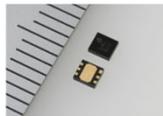
## DC/DC



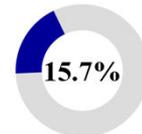
DC/DC Converterの略  
出力電圧が常に一定となるように制御



## VD



Voltage Detectorの略(電圧検出器)  
入力電圧を常に監視  
設定電圧以下となった時にアラームを出す



次の3つが主力の製品となります。

まずVR。これはVoltage Regulatorの略ですが、電気機器の様々な機能に必要な電力を出力するために用いられます。

我々の売上の大半を占める製品です。

次にDC/DC。これはDC/DCコンバータというものですが、出力する電圧を常に一定となるように制御する電源ICです。

我々の売上の1/4程を占めています。

最後にVD。これはVoltage Detectorの略ですが、電気機器の様々な機能に入力される電圧を常に監視し、決められた電圧以下の電圧を検出した際にアラームを出す機能を持っている電源ICです。

我々の売上の15%程を占めています。

## TOREXの特徴は？

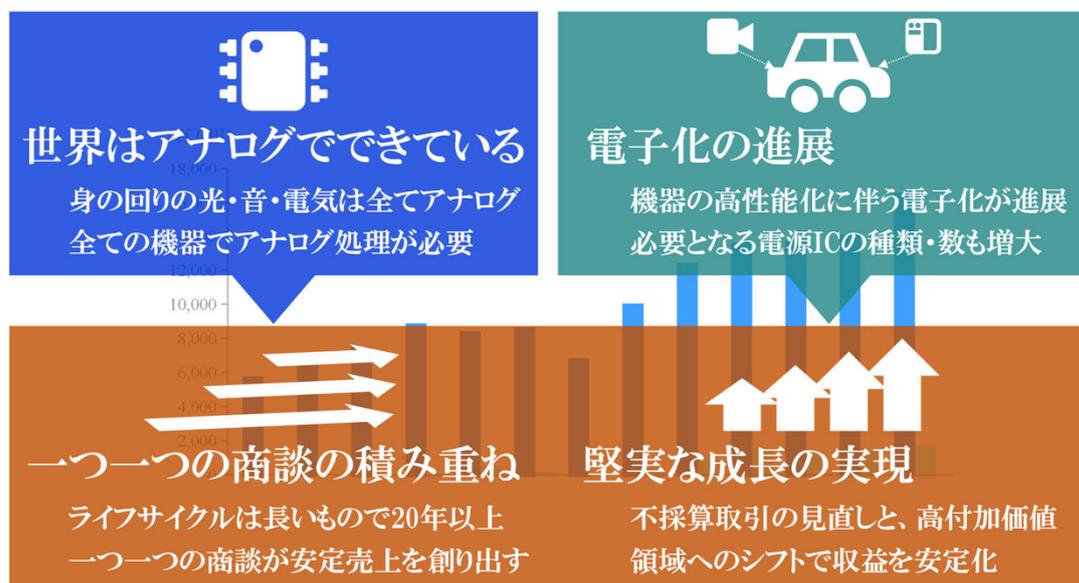
製品についてはご理解頂けたかと思えます。

では、他の電源ICメーカー等と比較して、我々にはどんな特徴があるのかご説明します。

## 特徴①：安定成長企業

10

着実に一つ一つの商談を積み重ね、堅実に成長していく企業です。



まず一つ目の特徴は、安定成長企業である、ということです。

我々はアナログの電源IC製品を扱っているわけですが、みなさん、アナログと聞くと、時代遅れという印象を持たれるかもしれません。

実際にはそうではなく、我々の世界は全てアナログでできております。詳しくは、お手元の資料の最後のページに記載しておりますが、我々の世界はアナログでできているため、世の中でどれだけデジタル化が進んでも、アナログがなくなることは絶対にありません。現在、自動車をはじめとした様々な分野で電子化が進んでいますが、その進展に合わせて、アナログ電源ICの需要もますます増大していくことは間違いありません。

それに加えて、我々の製品は、非常にライフサイクルが長いものです。一度使われると10年、20年と使われ続けるものもあります。

そのため、一つ一つ商談を積み重ねていくことが将来の大きな売上に繋がっていきます。

また、過去の業績の停滞期間に不採算取引の見直しや高付加価値領域へのシフト等を行ってきました。

そのため、堅実な成長を実現していける企業として、そして、ますます必要とされるアナログ電源ICを取扱い、着実に一つ一つの商談を積み重ねて安定的に成長していく企業として、みなさまにご認知いただきたいと思います。

開発、販売にアナログ技術のプロフェッショナル集団を有しています。

### 回路設計に踏み込んだ提案

開発-FAE(\*1)による営業サポートの下、  
アナログ電源を知り尽くした営業集団が  
ソリューションとしての製品提案を実施しています

(\*1) Field Application Engineer (技術営業)



開発

製造

検査・物流

販売

サービス



### アナログ電源IC設計に特化

1995年の創業から、アナログ電源ICという  
一つの分野を突き詰めてきたことで、  
高い専門性を有しています

安定成長を支える特徴の一つとして、我々はプロフェッショナル集団であるという強みを有しています。

1995年の創業以来、アナログ電源ICに特化して業務に邁進してきたことから、高い専門性を有した開発部隊がいます。

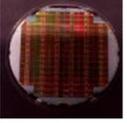
また、開発やFAEのサポートの下、単に製品だけではなく、お客さまの製品の回路設計まで踏み込んだソリューション提案ができる営業部隊がいます。

彼らが、我々の安定成長を支える大きな力として日々業務に取り組んでおります。

## 特徴③：ファブレス

12

前工程をファブレスとすることで、経営環境の変化に対する柔軟性を確保しています。

概要	選択肢	Quality		Cost		Delivery		狙い
		品質	原価	投資額	納期	新技術 対応期間		
前工程  シリコン基板に回路を作り込む	自社所有	○	△	×	○	×	狙い 多額の設備投資等、柔軟な意思決定の阻害要因を排除	
	ファブレス	△	○	○	△	○		
後工程  作り込まれた回路をパッケージに封入	自社所有	○	△	△	○	○		
	ファブレス	△	○	○	△	△		

もう一つ、安定成長を支える大きな特徴がファブレスであるということです。

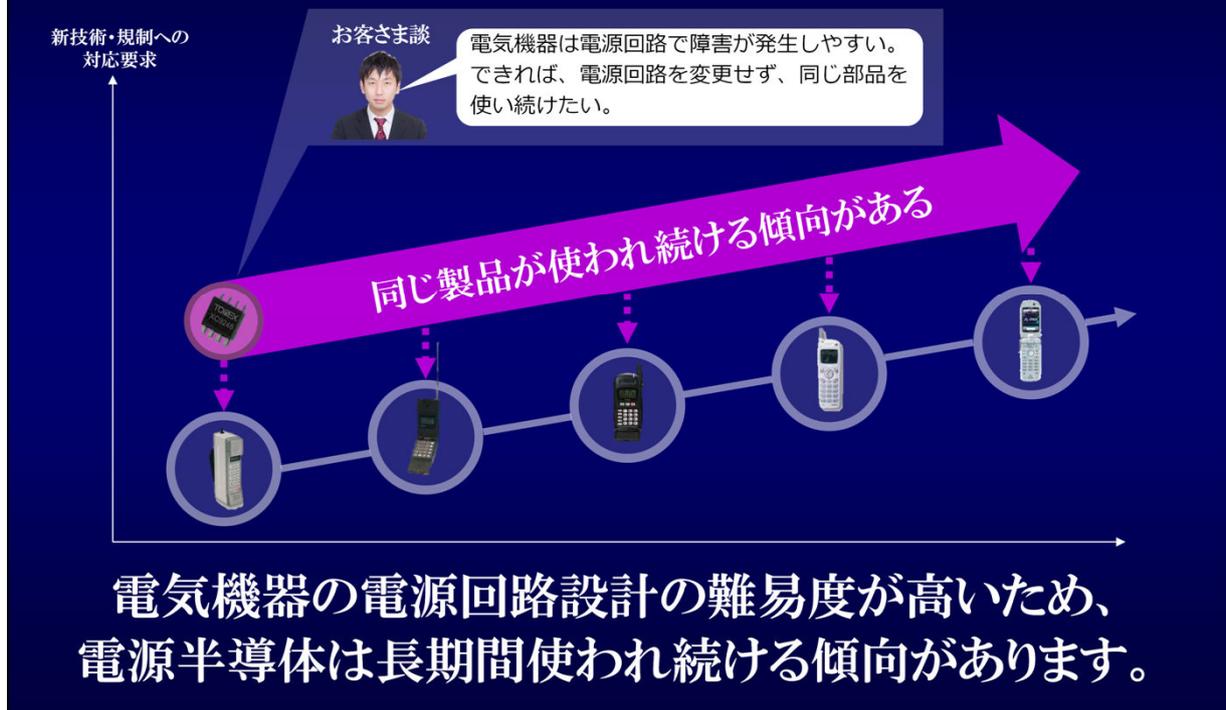
半導体の製造は、シリコン基板に回路を作り込む前工程と、作り込まれた回路をパッケージに封入する後工程に分かれているのですが、我々は前工程の工場を持っていません。前工程の工場を持つためには、莫大な金額を必要とする設備の購入等が伴うこと、また、新技術に追随していくために、新しい設備の投資が必要であること等、我々にとって前工程の工場を持つことに大きなメリットを見出すことができませんでした。

但し、後工程では前工程ほどの投資額を必要としないこと、我々の製品の特長である小型化を更に進化させていくためには、後工程での製造技術の研鑽が必要であったこと等から、後工程に関してはベトナムに工場を有しています。

前工程をファブレスとすることで、多額の設備投資等、柔軟な意思決定の阻害要因を排除し、経営環境の変化に対する柔軟性を確保していることが、我々の安定成長を支えています。

# トレックスの提供価値(1/4)

13



では、様々な特徴を有するトレックスは一体どんな価値をお客さまに提供しているのかをご紹介します。

このスライドは、携帯電話を一つの例とした進化の過程を模式的に示したものです。

新技術への対応要求や様々な環境規制、法規制に対応していくために、年々携帯電話も進化してきました。

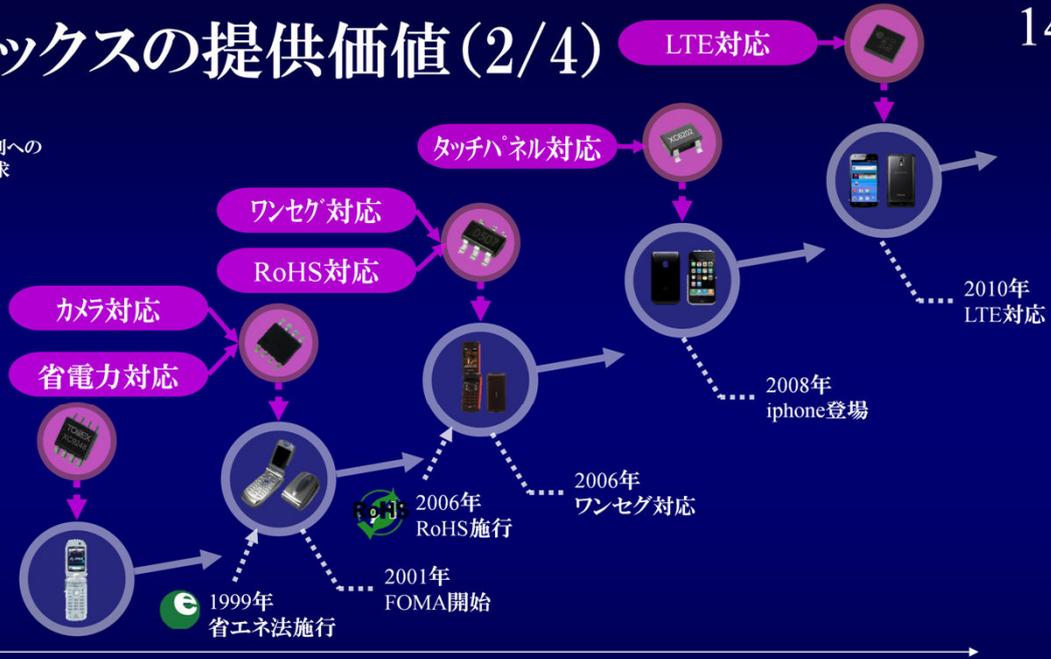
ですが、実は電源IC等の部品は、使われる電気機器が新しくなっても同じ部品が使われ続ける傾向があります。

それはなぜかと言いますと、電気機器では、開発等の段階で一番障害の発生する箇所は電源であることが非常に多いのです。

また、社内の開発リソースも限られているため、できれば、一度社内の評価を通った電源回路は、できる限り変更したくない、そのため同じ電源IC等の部品が使われ続ける傾向にあるのです。

# トレッスの提供価値(2/4)

新技術・規制への  
対応要求



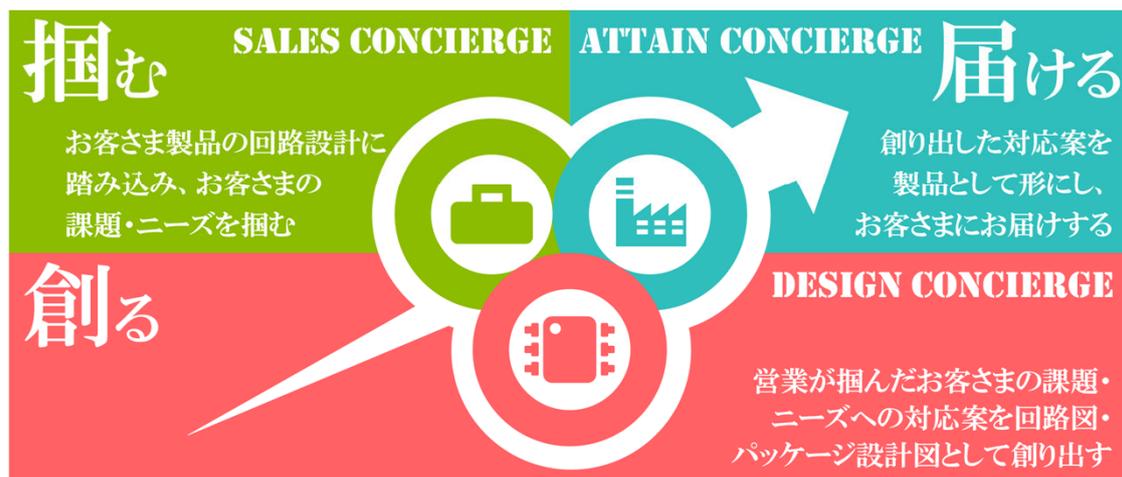
様々な業界では、新技術・規制対応要求の増大に伴い  
電源回路設計の変更を余儀なくされています。

ところが、近年その様相が大きく変化してきています。

様々な業界では、新技術・規制対応の要求が増大してきたことにより、電源回路の設計変更を余儀なくされてきています。

社内のリソースも限られ、開発期間もどんどん短縮される中、一番障害の発生しやすい電源回路まで変更を余儀なくされているため、電気機器設計メーカーの担当者は大きく疲弊してきています。

当社は、営業・開発・製造が三位一体となったソリューションサービス Analog Tricier (アナログ・トリシエル)を提供しています。



3つの(Triple)コンシェル  
(Concier)ge)が一体となったサービス

## Analog Tricier

そのため、我々は、営業・開発・製造、製造といっても我々はファブレスでもあるため、主に生産技術・管理が該当しますが、それらが三位一体となったソリューションサービス、アナログ・トリシエルを提供しています。

創業以来アナログ電源を扱ってきた営業が、電源回路の設計変更を余儀なくされているお客様に、その製品の回路設計まで踏み込んで、お客様が抱えている課題や電源ICへのニーズをつかみます。

営業がつかんできた課題とニーズを基に、営業と同じく創業以来アナログ電源を扱ってきた開発が、回路図・パッケージ設計図としてお客様の課題・ニーズへの対応案を創り出します。

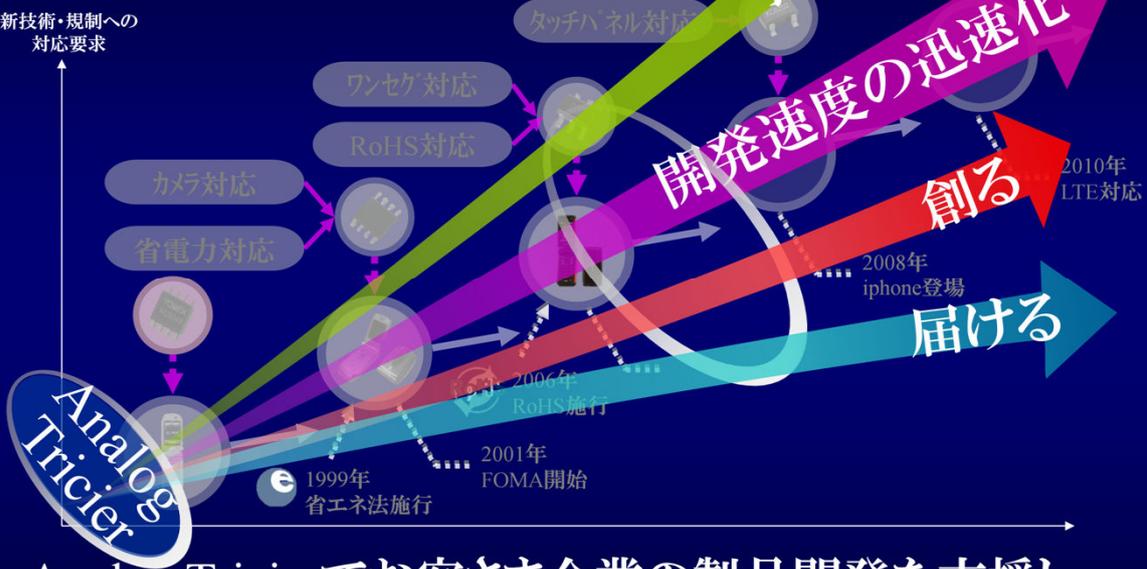
そして、生産技術・管理が、開発の創り出した対応案を量産可能な製品として形にし、委託先工場と密に連携を取りながら、お客様にお届けします。

それぞれの部隊がコンシェルジュのようにお客様のために全力を尽くし、お客様の期待に応える、3つのコンシェルが一体となったアナログ・トリシエルが、我々がお客様に提供したいサービスを言葉として表したものです。

# トレッスの提供価値(4/4)

16

新技術・規制への  
対応要求



Analog Tricierでお客さま企業の製品開発を支援し、  
お客さま企業の開発速度の迅速化に貢献します。

アナログ・トリシエルをお客さまに提供することで、お客さまの製品開発に関する課題・ニーズをつかみ、対応案を創り出し、お届けすることで、お客さま企業の製品開発速度の迅速化に貢献する、それが我々の目指しているお客さまへの提供価値です。

<h1>1 会社概要</h1>	事業内容 電源ICへの思い 主力製品群	特徴 提供価値
<h1>2 市場動向</h1>	アナログ半導体市場規模 アナログ電源IC市場規模 当社の位置付け	競合動向
<h1>3 第19期の業績</h1> <p>(2014年3月期)</p>	これまでの業績 売上推移 営業利益推移	利益改善要因 業績進捗
<h1>4 今後の展望</h1>	中期経営目標 ターゲットアプリケーション 新製品開発計画	開発力強化方針 販売力強化方針
<h1>5 還元方針</h1>	基本方針 配当額と配当性向	

ここまでが会社の概要に関する説明です。

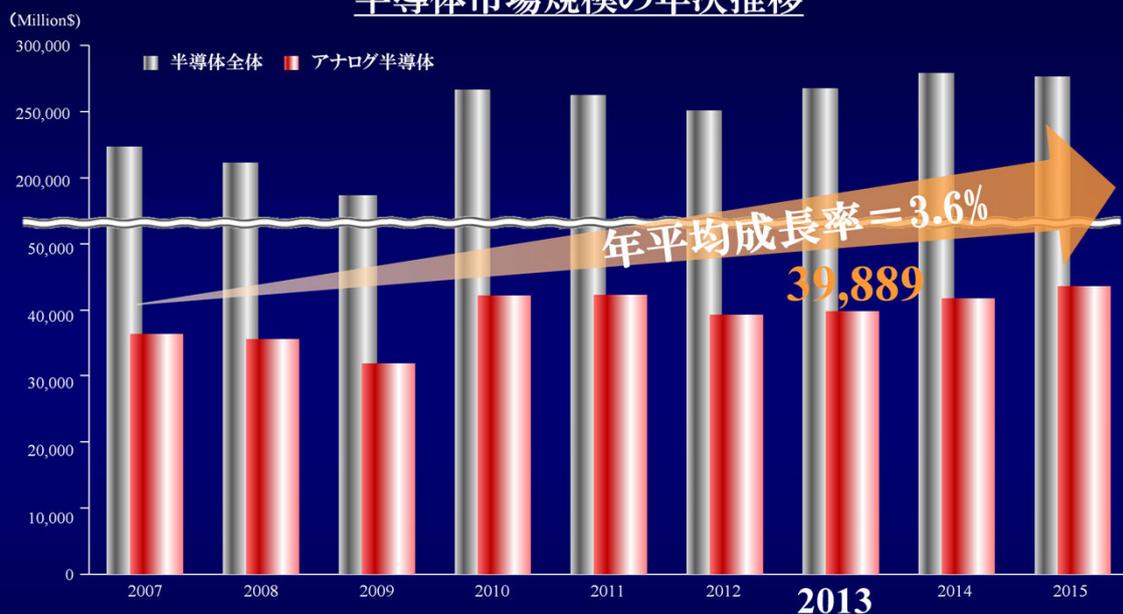
ここからは、我々の属する市場がどうなっているかについてご紹介します。

# 市場はどうなる？

半導体ということで、多くみなさまは、我々の将来に懸念を抱いておられるのではないかと思います。

では、実際のところ、市場はどうなっていくのか？

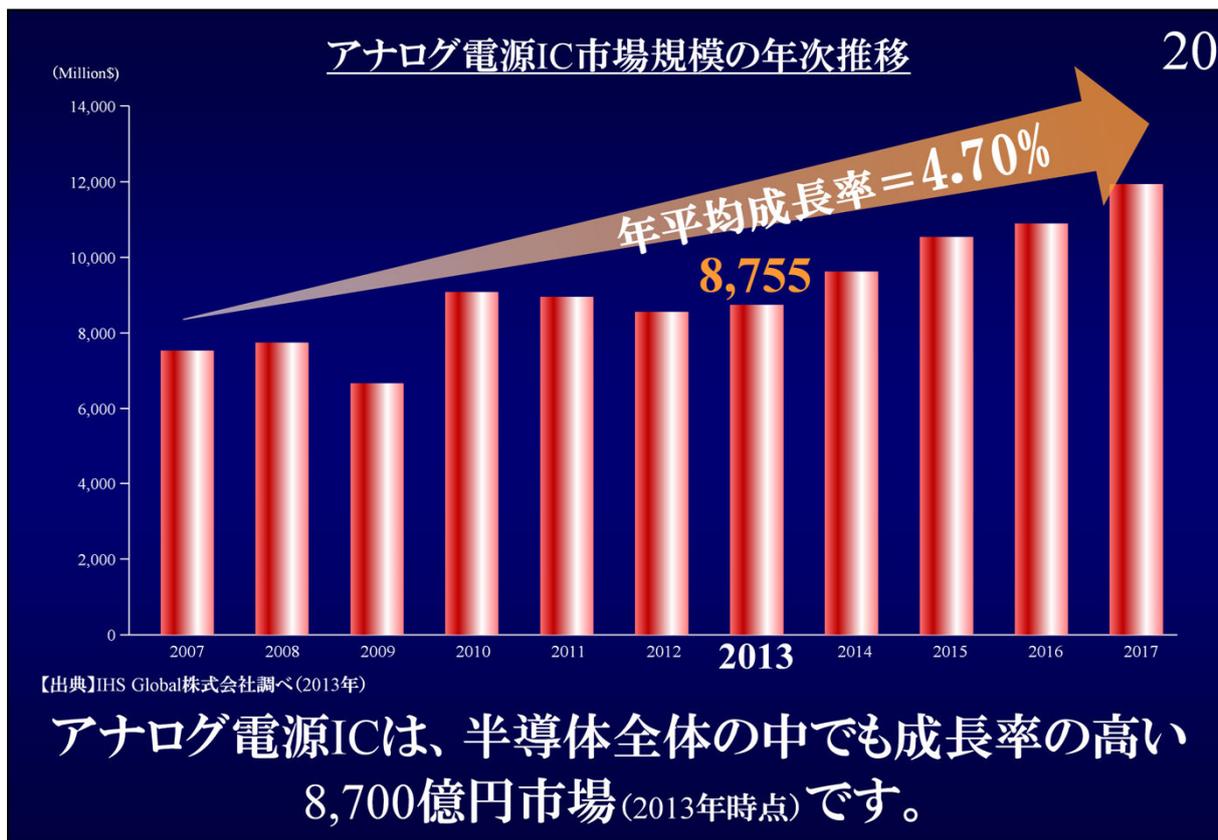
## 半導体市場規模の年次推移



【出典】WSTS 2013年秋季半導体市場予測

アナログ半導体は4兆円市場(2013年時点)で、  
現在も拡大基調にあります。

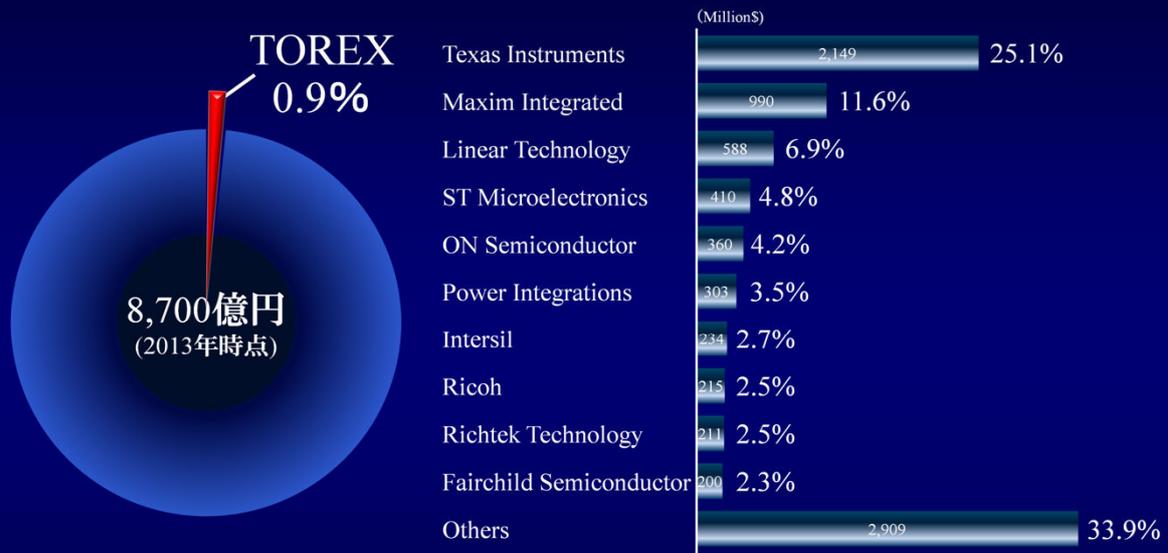
世の中の景気の変動に影響を受ける業界ではありますが、我々の属しているアナログ半導体市場は、全体で4兆円市場であり、現在も拡大基調にある市場です。



我々はアナログ半導体の中の、アナログ電源IC市場に属しているわけですが、アナログ電源IC市場は、半導体全体の中でも成長率の高い市場です。  
全体として8,700億円の規模となっております。

## 市場における当社の位置付け

21



【出典】IHS Global株式会社調べ(2013年)

**他寡占市場等と比較して、絶対的な強者は存在せず  
市場占有率拡大の余地は大きいと考えています。**

アナログ電源IC市場において、我々は約1%のシェアを獲得しています。

この市場は、右側の各競合のシェアをご覧になっていただくとお分かりのように、他寡占市場等と比較して、絶対的な強者は存在していません。

そのため、今後、我々は、シェアを2%、3%と拡大させていくことは、簡単ではありませんが、十分実現可能だと考えております。

## 競合動向

22

(\*1)アナログ売上高はGartnerより  
(2012年暦年ベース)  
(\*2)アナログ比率は(\*1)算出時点での  
決算データを使用

	売上高	営業利益	アナログ 売上高(*1)	アナログ 比率(*2)	売上高 営業利益率
<b>当社</b>	<b>93.9</b> 億円	<b>14.1</b> 億円	<b>93.9</b> 億円	<b>100.0%</b>	<b>15.1%</b>
Texas Instruments	12,205 MS	2,984 MS	4,250 MS	34.8%	24.4%
Analog Devices	2,634 MS	783 MS	2,049 MS	<b>77.8%</b>	<b>29.7%</b>
Maxim	2,441 MS	616 MS	1,638 MS	<b>67.1%</b>	<b>25.2%</b>
Linear Technology	1,282 MS	573 MS	1,213 MS	<b>94.6%</b>	<b>44.7%</b>
ON Semiconductor	2,783 MS	251 MS	715 MS	25.7%	9.0%
STMicroelectronics	8,050 MS	△705 MS	556 MS	6.9%	△8.8%
Richtek Technology	372 MS	71 MS	372 MS	<b>100.0%</b>	<b>19.1%</b>

**アナログ比率の高い海外競合は高収益を達成しています。**

また、アナログ半導体を扱っている企業は、総じて高収益を達成しています。

右側から2番目の列に、全売上高に占めるアナログ製品の売上の比率を示していますが、アナログ比率の高い企業程、大きな営業利益を上げているのがおわかりになると思います。

そのため、我々も、これらの競合と同様の営業利益率を達成することは十分実現可能であると考えておりますし、その実現に向けて鋭意尽力していく所存であります。

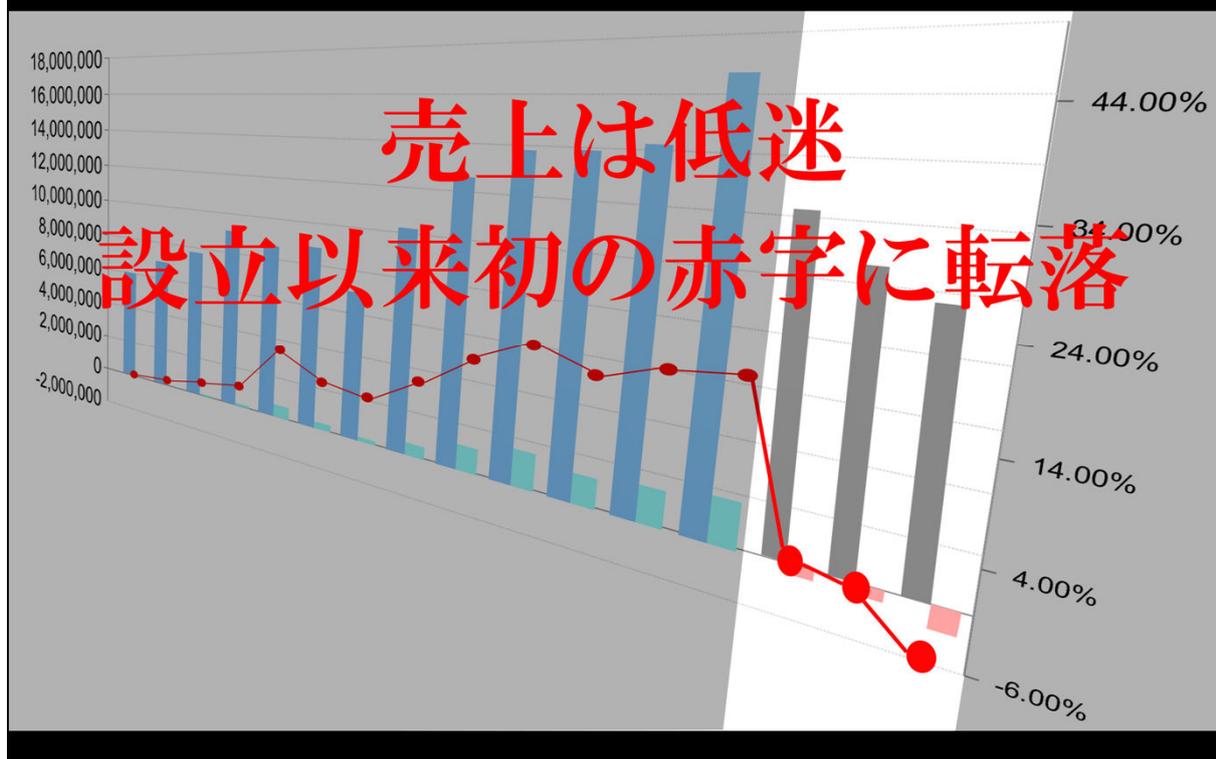
1 会社概要	事業内容 電源ICへの想い 主力製品群	特徴 提供価値
2 市場動向	アナログ半導体市場規模 アナログ電源IC市場規模 当社の位置付け	競合動向
3 第19期の業績 (2014年3月期)	これまでの業績 売上推移 営業利益推移	利益改善要因 業績進捗
4 今後の展望	中期経営目標 ターゲットアプリケーション 新製品開発計画	開発力強化方針 販売力強化方針
5 還元方針	基本方針 配当額と配当性向	

それでは、今期の業績がどうなったかについてご説明します。

その前に、目論見書等をご覧になったみなさまが、恐らく一番気にしておられる、過去の停滞期間から業績をどう改善してきたのか、今後、同じような業績になってしまうのではないか、に関してお答えした後に、今期の業績を説明させていただきます。

## これまでの業績は？

では、これまでの業績と、業績改善に向けた取組みの経緯について簡単にご紹介いたします。



13期(2008年)までは順調に業績を伸ばしてきたのですが、みなさまご存知の通り、リーマンショックの影響を受けて売り上げは伸び悩み、2010年には過去最大の赤字を計上する事態となってしまいました。まさに窮地です。

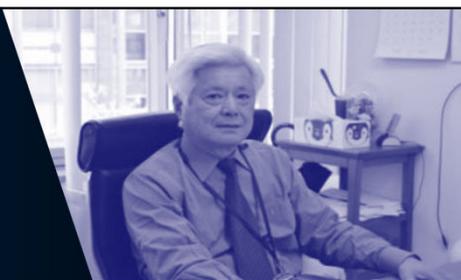
# 窮地に立たされた トレックス

トレックスの窮状を  
打破すべく

男達が  
立ち上がった

代表取締役社長

藤阪 知之



常務取締役

芝宮 孝司

常務取締役

木村 浩



# V-Plan発動

窮地に陥ったTOREXの現状を打破すべく  
改めて、TOREXの強みは何か、  
他社の模倣困難な独自資源は何か、  
収益回復までの道のり、  
今を乗り越えた先に見据える目標地点…  
等々が議論された

培ってきた知識・経験を総動員させての  
議論は連日深夜まで行われた

# 注力製品分野のシフト

利益率の改善、売上の安定化を実現すべく、  
民生機器から車載機器・産業機器分野へ経営資源をシフト  
新分野攻略製品の開発を早急に推進

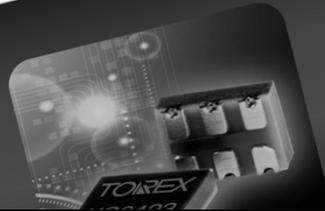


Tomoyuki Fujisaka

Koji Shibamiya

# 開発・営業体制の変革

TOREXのアナログ技術は世界でもトップクラス！  
また、お客様の回路設計まで踏み込んで提案できる営業体制は、  
日本国内において海外メーカーにはないTOREXの大きな強み  
我々の強みをお客さまに見えるカタチで提供できる仕組みの構築が必要



新規市場の開拓

# 目線の転換。



注力製品分野のシフトに合わせ、  
これまで以上にお客さま目線での  
製品開発、営業展開が必要  
また、今後の大きな成長が期待される  
センサー製品の市場投入を早急に進める必要がある

Hiroshi Kimura

こうして練り上げられた  
V-Plan(中期経営計画)に基づき、  
注力製品分野のシフト、  
BU(Business Unit)制への移行、  
付加価値向上推進策の実現等が進められていった

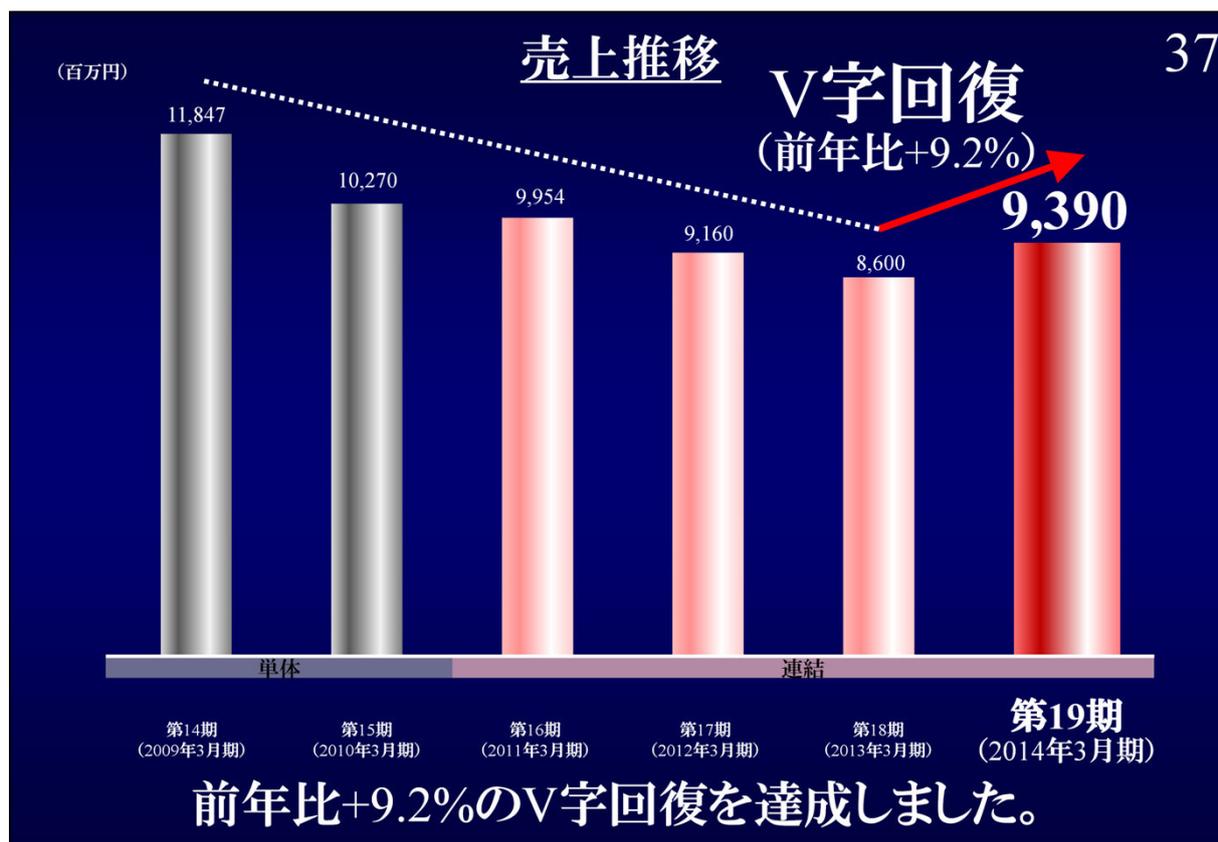
設立以来の難局を乗り越えるために  
社員一人一人が力を合わせて業務に励み、  
TOREXは業績回復の道のりを確かに歩んでいった

## 業績はどう変わったか？

冒頭の会社紹介のアニメーションやお手元の資料の26ページから35ページでご紹介しているように、赤字脱却に向けた中期経営計画、V-Planを練り上げて、これまで実行してきました。

注力製品分野のシフト、これまでの機能別組織からいわゆる事業部制組織にあたるBU制への移行、そしてアナログ・トリシエルと呼んでいる付加価値向上推進策等を実行してきました。

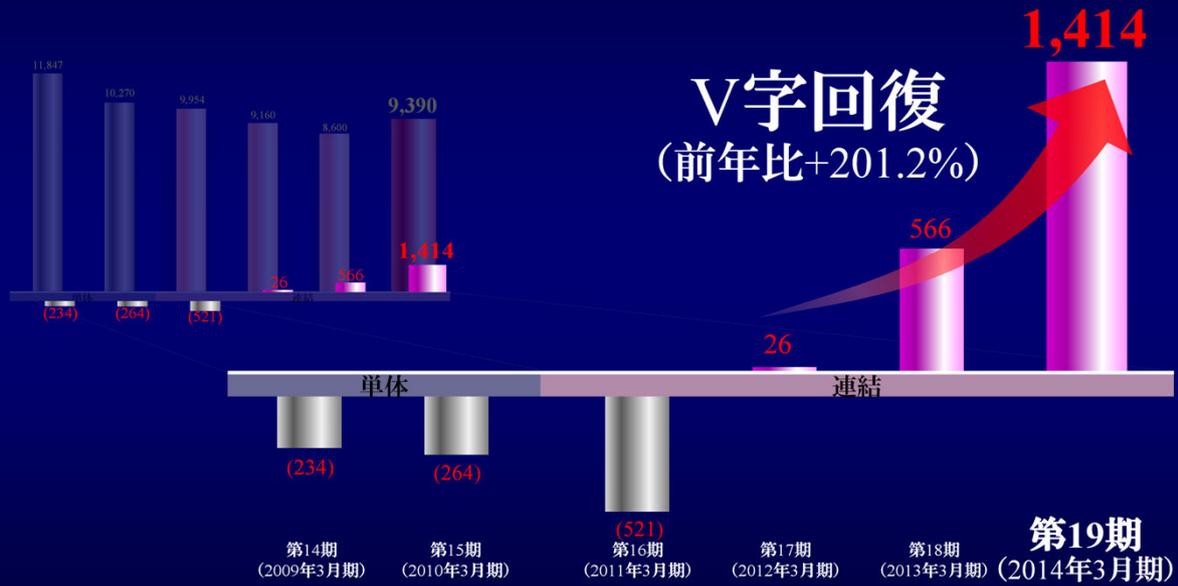
その結果として今期の業績が出てきております。



売上は前年比9.2%増加のV字回復を達成しました。

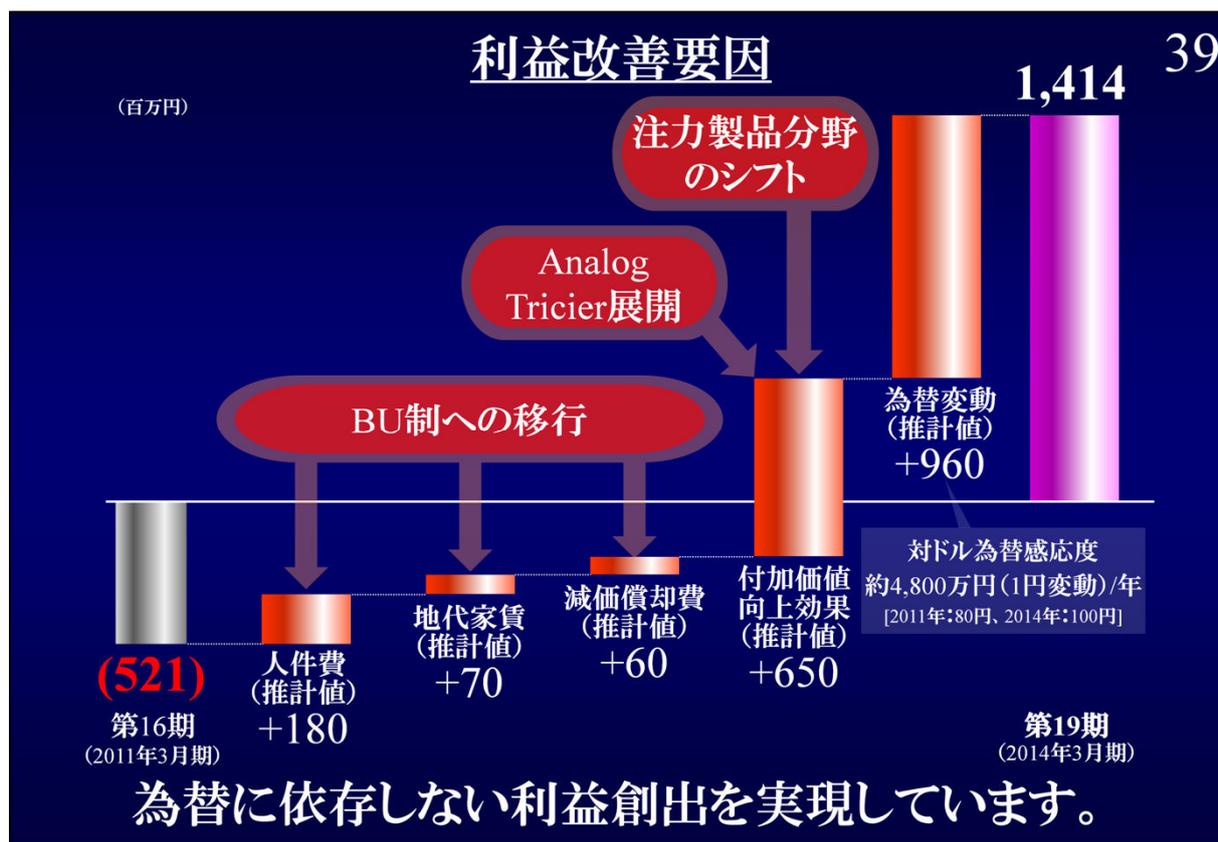
# 営業利益推移

(百万円)



売上と共に、営業利益の回復・拡大を実現しました。

営業利益は、売上と共にV字回復し、更にその拡大を実現しました。



その要因は、先程ご紹介したV-Planの実行にあります。

もちろん為替変動による影響も大きく、2011年と比較して約9億6千万円の利益増大に繋がっています。

ですが、こちらのスライドでもおわかりのように、為替変動要因を差し引いても黒字が出せる企業体質に進化することができました。

BU制への移行に伴い、業務実行体制の合理化を進めたことで人件費の削減が、より効率の良い業務実行体制を実現するべく事務所を移転したことにより地代家賃の削減が、余剰設備の見直しにより減価償却費の削減が実現できております。

また、携帯電話等のような、価格競争の激しくなっていた民生機器分野から、車載・産機を始めとした高収益を上げられる製品分野へ注力していったこと、それを可能にするアナログ・トリシエルの展開により、付加価値向上効果として約6億5千万円の利益増大を達成することができました。

## 業績予想の達成率は？

4/8の株式上場時に、2014年3月期の業績予想を発表しておりますが、その達成率は  
どうなっているか？

## 業績予想の達成率

41

	4/8発表予想	実績	達成超過額	達成率
売上高	百万円 9,270	百万円 9,390	百万円 121	<b>101.3%</b>
営業利益	1,408	1,414	6	<b>100.5%</b>

ほぼ4/8発表予想の通りの実績となりました。

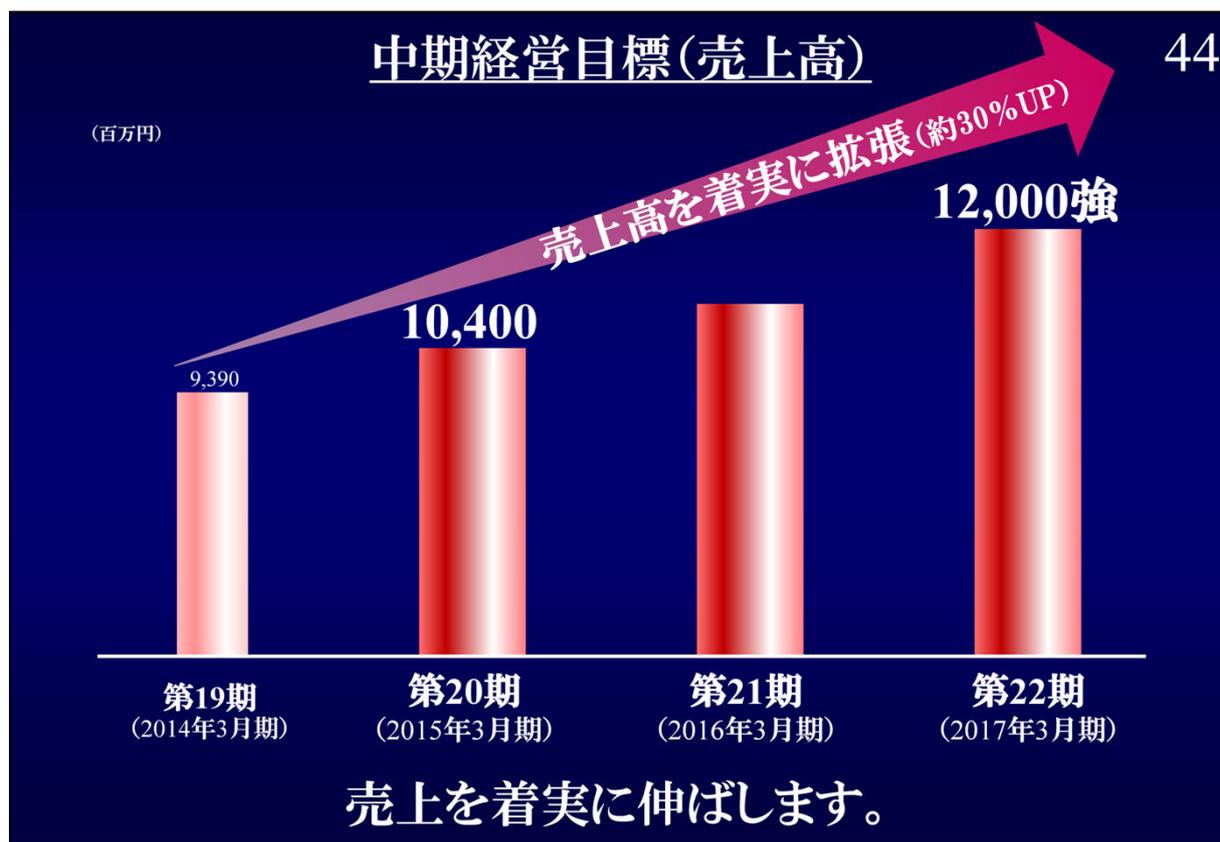
ほぼ予想通りの実績を達成することができました。

1 会社概要	事業内容 電源ICへの想い 主力製品群	特徴 提供価値
2 市場動向	アナログ半導体市場規模 アナログ電源IC市場規模 当社の位置付け	競合動向
3 第19期の業績 (2014年3月期)	これまでの業績 売上推移 営業利益推移	利益改善要因 業績進捗
4 今後の展望	中期経営目標 ターゲットアプリケーション 新製品開発計画	開発力強化方針 販売力強化方針
5 還元方針	基本方針 配当額と配当性向	

では、今後はどうなるのか。中期経営目標から、ターゲットとする市場とその市場に向けた新製品の開発計画、必要となる強化方針等に関し、説明させていただきます。

# 今後の見込みは？

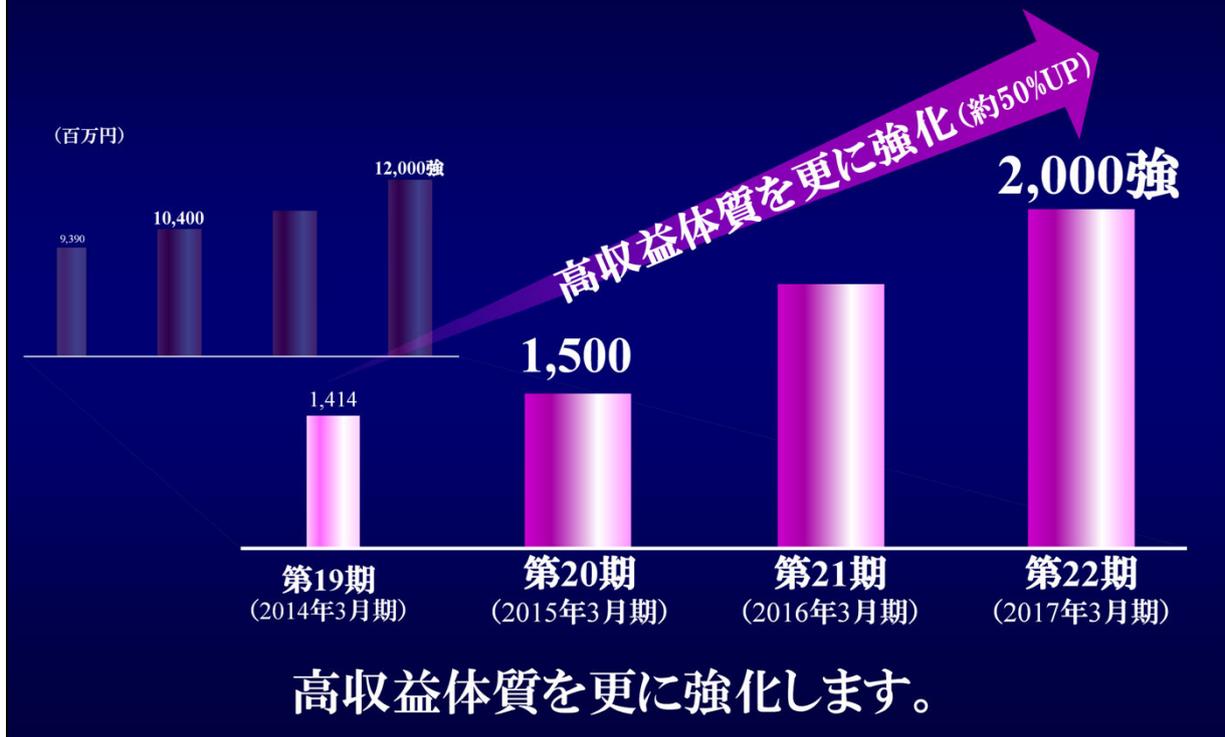
まず、今後の見込みです。



今後の3年で、売上を着実に拡張し、約30%UPを目指していきます。

## 中期経営目標(営業利益)

45



また、高収益体質を更に強化し、営業利益の約50%UPを目指していく所存です。

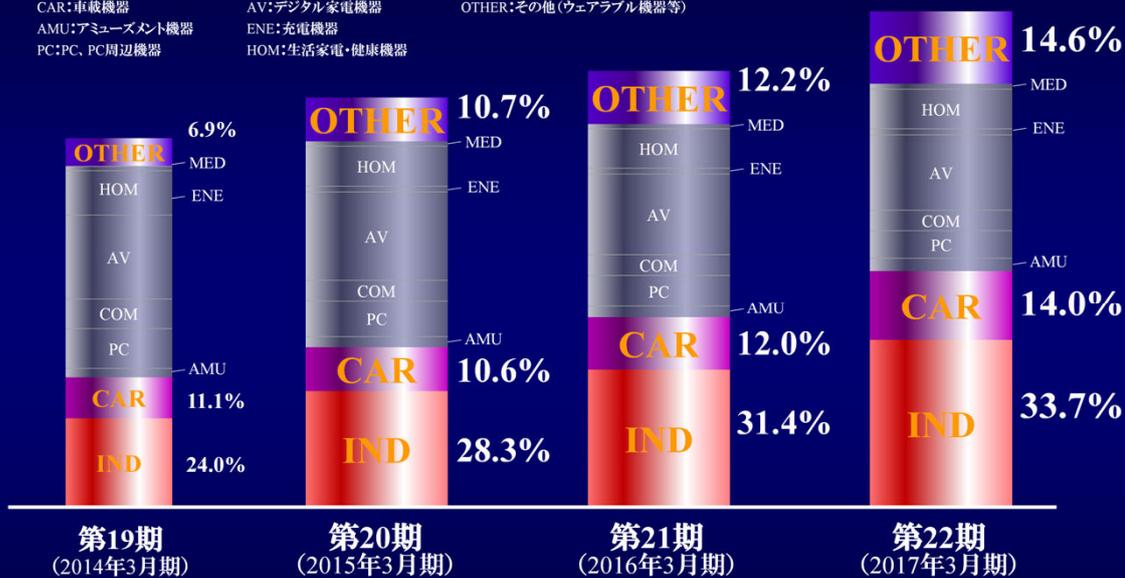
# 注力する市場は？

中期経営目標を達成していくために、今後注力していく市場はどこか？

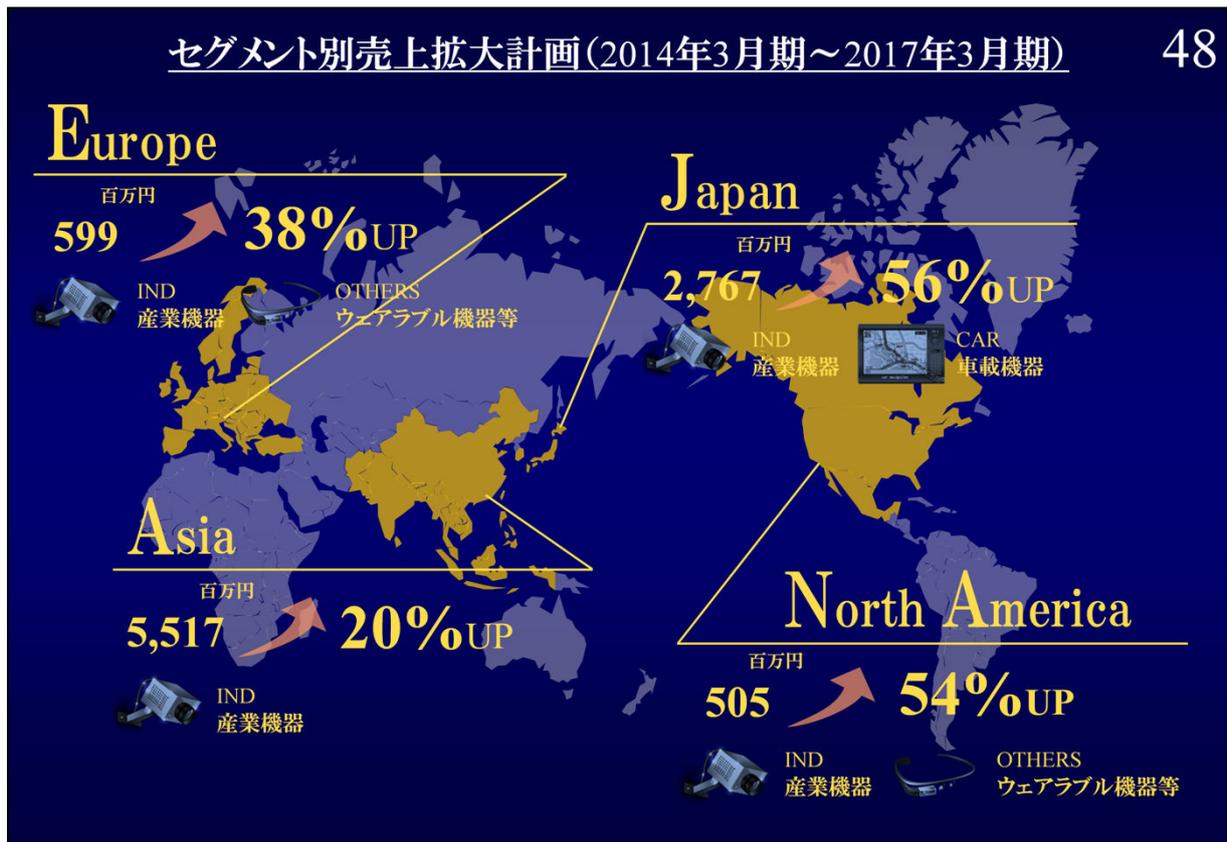
# 主要アプリケーション別売上拡大計画

(百万円)

IND:産業機器  
 CAR:車載機器  
 AMU:アミューズメント機器  
 PC:PC、PC周辺機器  
 COM:コミュニケーション機器  
 AV:デジタル家電機器  
 ENE:充電機器  
 HOM:生活家電・健康機器  
 MED:医療機器  
 OTHER:その他(ウェアラブル機器等)



産業機器(IND)・車載機器(CAR)・ウェアラブル(OTHER)機器を中心に売上拡大を目指します。



また、それぞれのセグメントで、大きく売上を拡大させていく予定です。

# 今後の開発製品は？

注力市場に対する今後の開発製品はどうなっているのか？

# 開発方針 (1/4)



想定  
売上貢献額

**570**  
(百万円)

## IND



スマートメーター  
各種計器類  
RFID使用機器  
監視カメラ  
業務用端末 等

### 省電力化対応

自己消費電流を極限まで低減させ、  
システム機器の省電力化に対応

### 高密度電源対応

部品の実装面積に制約があるが、高い電圧での  
動作が必要な小型機器等に機能集積等に対応

## CAR



カーナビ  
カーオーディオ  
モニタカメラ  
コーナーセンサ  
キーレス 等

### 高温動作保証

高温環境下での安定動作要求に対し  
125℃環境での動作に対応

### カーバッテリー対応

カーバッテリーから供給される12Vの電力に対応  
高信頼性を要求される車載規格に対応

まず、VRです。産業機器と車載機器向けに開発を進めていきます。

産業機器向け製品では、スマートメータや監視カメラ等を中心に、高温でも動作可能にすること、また小型でも大きな電力に対応していくための機能開発等を実施していく予定です。

車載機器向け製品では、カーナビやカーオーディオ等のアクセサリ機器を中心に、12Vでの動作や省電力化等のカーバッテリー対応を中心に進めていきます。

## 開発方針 (2/4)



想定  
売上貢献額

**630**  
(百万円)

### IND



スマートメーター  
各種計器類  
RFID使用機器  
監視カメラ  
業務用端末 等

#### 小型化対応

電源IC自体の小型化の推進と共に、周辺部品の小型化、削減により電源回路を省スペース化

#### 高速動作対応

高効率な電力変換を実現すると共に、外部変動に高速に対応できる回路制御を実現

### CAR



カーナビ  
カーオーディオ  
モニタカメラ  
コーナーセンサ  
キーレス 等

#### 高温動作保証

高温環境下での安定動作要求に対し  
125℃環境での動作に対応

#### 車載規格対応

車体で使用される機器への搭載を目指して  
高信頼性を要求される車載規格に対応

### OHTERS



血圧計  
血糖値計  
活動量計  
ウェアラブル端末 等

#### 待機時電力削減

変換効率向上による大気時消費電力を大幅に削減し、システム機器の長時間使用を実現

#### 小型化対応

更なる小型化が求められるウェアラブル端末向けに  
周辺部品小型化/削減での省スペース化で対応

続いてDCDCコンバータです。産業機器、車載機器、ウェアラブル機器向けに開発を進めていきます。

DCDCコンバータでは、アクセサリ機器のみならず車体で使用される機器への搭載を目指し、高信頼性を要求される車載規格への対応を進めていきます。

ウェアラブル機器向けには、ノイズ抑制や我々の得意とする小型化技術の更なる高度化を進めていきます。

# 開発方針 (3/4)



想定  
売上貢献額

**130**  
(百万円)

## IND



スマートメーター  
各種計器類  
RFID使用機器  
監視カメラ  
業務用端末 等

### 省電力化対応

自己消費電流を極限まで低減させ、  
システム機器の省電力化に対応

### 電源瞬断・瞬停対応

電源の瞬断・瞬停発生時、機器の安定停止に  
必要な機能(リセット信号保持等)を搭載

## CAR



カーナビ  
カーオーディオ  
モニタカメラ  
コーナーセンサ  
キーレス 等

### 高温動作保証

高温環境下での安定動作要求に対し  
125℃環境での動作に対応

### カーバッテリー対応

カーバッテリーから供給される12Vの電力に対応  
バッテリー電圧の状態監視に適合

VDでは産業機器、車載機器向けに開発を進めていきます。

不安定な電源環境下でも正常に動作するための機能の開発や、車載機器に求められる高速動作対応等を実現するべく、製品開発を進めていく予定です。

# 開発方針 (4/4)



想定  
売上貢献額

**150**

(百万円)

## IND



スマートメーター  
産業用ロボット  
RFID使用機器  
監視カメラ  
業務用端末 等

### 高温動作保証

高温環境下での安定動作要求に対し  
125°C環境での動作に対応

### 高密度電源対応

部品の実装面積に制約があるが、高い電圧での  
動作が必要な小型機器等に機能集積等で対応

## OHTERS



血圧計  
血糖値計  
活動量計  
ウェアラブル端末 等

### 小型化対応

ウェアラブル端末向けにUSP等の当社独自技術による  
小型製品を更に進化

### 省電力化対応

放熱性の向上による電力損失抑制実現に向けて  
USP<sup>(\*)</sup>等のパッケージ技術の更なる高度化を追求

(\*)Ultra Small Packageの略。TOREX独自開発のパッケージング技術

その他製品として、特に我々が力を入れているのがXCL、Micro DCDCコンバータです。  
小型の産業機器やウェアラブル機器での採用を目指して、小型化・省電力化の更なる  
高度化を追求していきます。

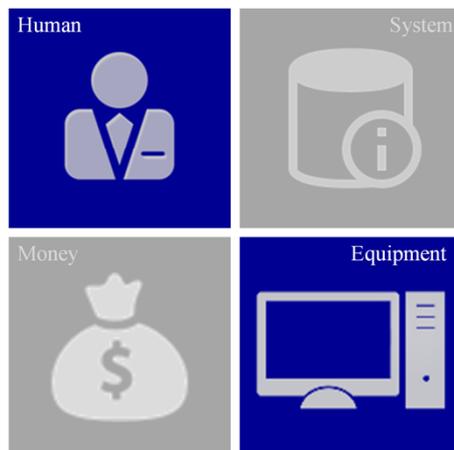
# 市場要求にどう応え続けていくのか？

中期経営計画を達成していくために、市場の要求に応え続けていく必要があります。  
そのために我々は何をしていくのか？

人材・設備への投資により、開発力を更に強化していきます。

## 人材投資

他社の優秀な  
電源設計エンジニアの  
積極採用



## 設備投資

新技術（製造プロセス）に  
対応した最新設計ツールの  
導入

まずは開発力の強化です。

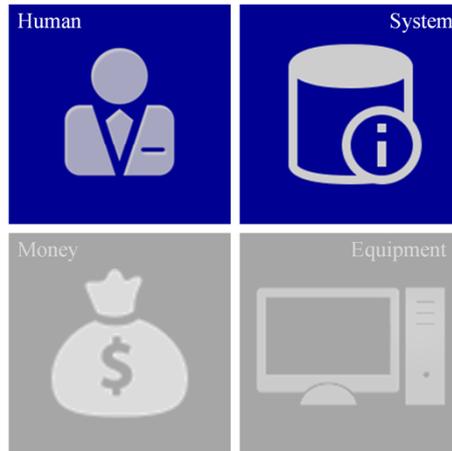
主に、人材と設備への投資により実現していきます。

他社の優秀な電源設計エンジニアの積極採用、更なる製品付加価値向上を目的とした最新設計ツールの導入等を実施していく予定です。

人材・システムへの投資により、販売力を更に強化していきます。

## 人材投資

お客さま製品と電源に通じたFAE(\*1)の採用と海外への配置



## システム投資

拠点間の製品・技術情報共有円滑化に向けたシステムの導入

(\*1) Field Application Engineer (技術営業)

続いて販売力の強化です。

人材とシステムへの投資により実現していきます。

電源のみならず、我々がターゲットとしている市場の製品にも知見のあるFAEを採用し、海外拠点へ配置していくことを考えています。

また、海外での販売力強化に向けたサポートを充実するために、新製品・新技術に関する情報共有を円滑化するべく、情報共有システムに投資していく予定です。

1 会社概要	事業内容 電源ICへの想い 主力製品群	特徴 提供価値
2 市場動向	アナログ半導体市場規模 アナログ電源IC市場規模 当社の位置付け	競合動向
3 第19期の業績 (2014年3月期)	これまでの業績 売上推移 営業利益推移	利益改善要因 業績進捗
4 今後の展望	中期経営目標 ターゲットアプリケーション 新製品開発計画	開発力強化方針 販売力強化方針
5 還元方針	基本方針 配当額と配当性向	

こうして実現していく収益を、みなさまにどう還元していくかについてご説明致します。

## 株主還元方針は？

- ① 業績に連動した利益還元を目指します
- ② 配当性向年間20%以上の実現継続を目指します
- ③ 中期経営計画の達成による  
中期的な企業価値の向上を目指します

基本方針は大きく3つあります。

一つ目は、業績に連動した利益の還元を目指します。

二つ目は、配当性向年間20%以上を継続して実現できるように致します。

三つ目は、中期経営計画の達成による中期的な企業価値の向上を目指していきます。

上記を実現し続けていけるよう、尽力していく所存です。

## 配当額は？

1株当たり配当金			
基準日	第2四半期末	期末	年間
前期実績	0円00銭	40円00銭	40円00銭
配当予想	<b>50円00銭</b> (普通配当 40円00銭) (記念配当 10円00銭)	<b>50円00銭</b> (普通配当 40円00銭) (記念配当 10円00銭)	<b>100円00銭</b> (普通配当 80円00銭) (記念配当 20円00銭)

株主のみなさまへの利益還元に向けて  
増配を実施させていただきます。

では、2015年3月期の配当についてご説明致します。

先日の発表通り、普通配当80円、記念配当20円の計100円の配当を予定しています。  
株主のみなさまへの利益還元に向けて増配を実施させて頂く所存です。

最後に  
みなさまにお知らせがあります。

以上が私からの説明内容となりますが、最後にみなさまにお知らせがあります。

# IXYS CORPORATIONと 相互販売提携契約を締結

相互の強みを生かし、ワールドワイドでの事業機会を相互に拡大

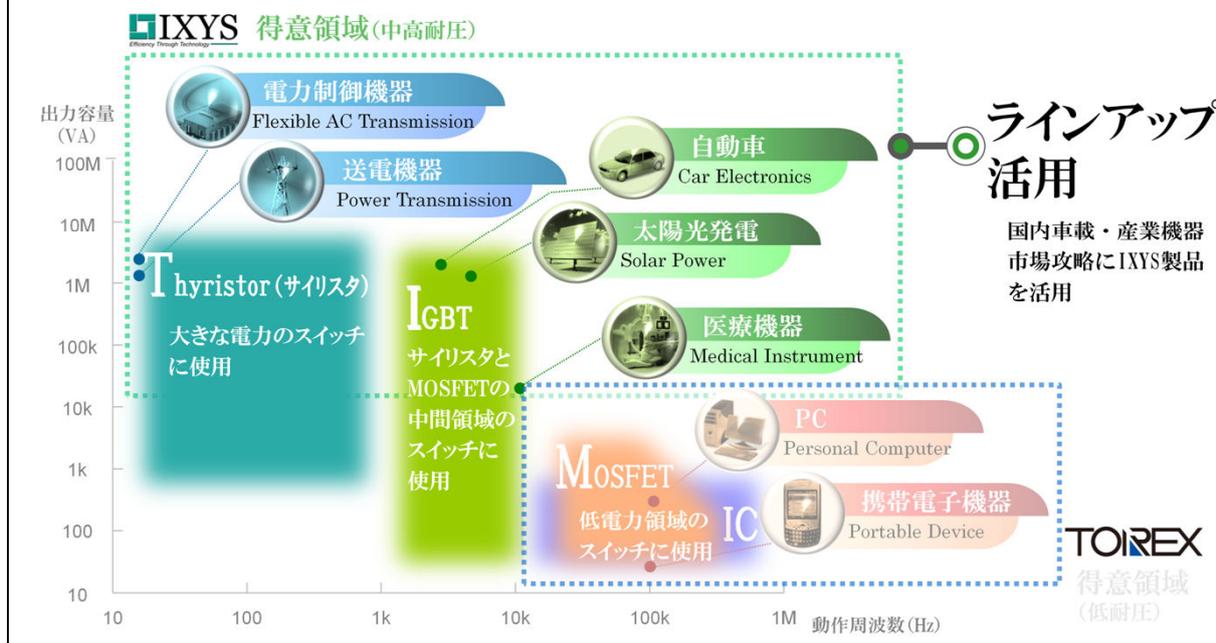


我々は、アメリカのパワー半導体やマイコンを扱っているIXYS CORPORATIONと相互販売契約を締結致しました。

相互の強みを活かし、ワールドワイドでの事業機会を相互に拡大していく予定です。

具体的には、IXYS製品を我々の製品ラインアップに追加すると共に、IXYSの販売網を我々の製品の拡販に活用していく予定です。

IXYS社の中高耐圧製品を産業機器市場攻略に活用する予定です。

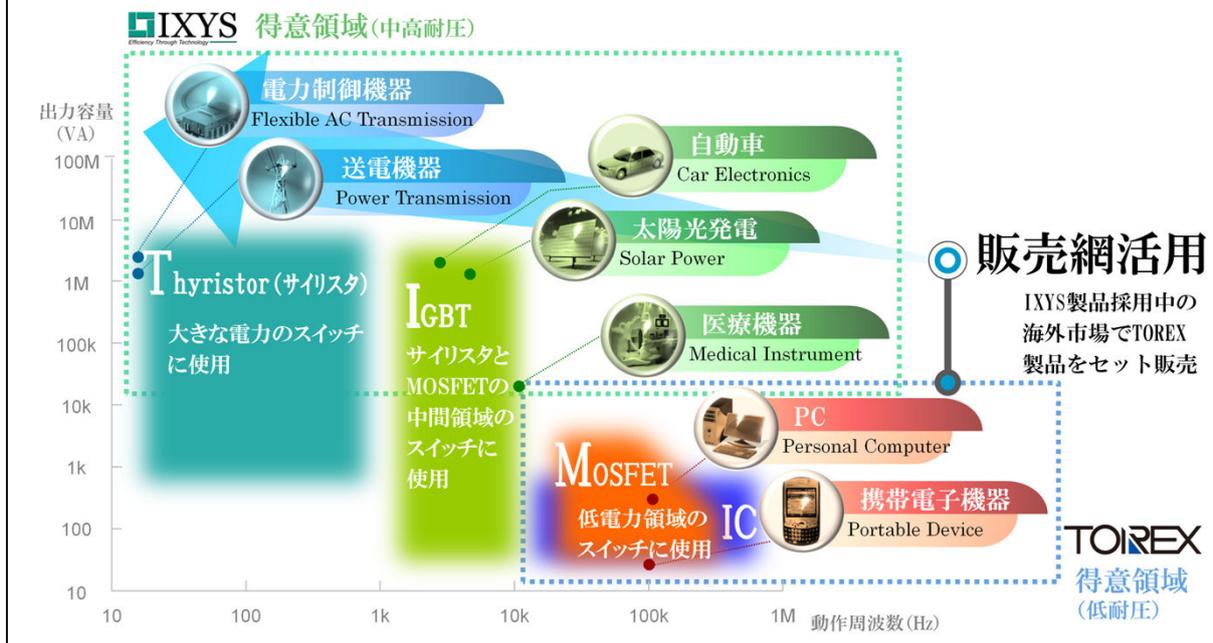


IXYS社の扱っている製品は、ディスクリートと呼ばれるサイリスタやIGBT等の、非常に大きな電力を扱う分野で用いられているものが中心です。

その分野の代表的なものとして、電力制御機器や自動車、太陽光発電、医療機器等が挙げられます。

それらの分野に展開しているIXYS製品を我々の製品ラインアップに追加し、我々のターゲットとしている産業機器市場の攻略に活用していく予定です。

IXYS社の販売チャネルを通じてTOREX製品が販売される予定です。



また、IXYS社がこれまで構築してきた販売網を我々の製品拡販に活用していきます。IXYS社は中高耐圧の半導体を開発・販売してきたことから、我々のターゲットとしている産業機器分野に多くのお客さまを抱えています。

昨今、産業機器でも高機能化の進展と共に、機器の電子化も進んできています。

そのため、我々の取り扱っている製品も産業機器で使用されるケースが増えてきています。

IXYS社が構築してきた販売網を活用し、IXYS社が抱えているお客さまに我々の製品をアピールしていくことで、欧米を中心とした産業機器分野での売上拡大を目指していきます。

加えて、上場後、今回のIXYS社との提携のようなお話を頂く機会が増えました。

特に、米国、中国の企業から資本提携等に関する情報を入手することが多くなってきています。

今後、更なる業績拡大に向けた、業務提携や資本提携等もいろいろと模索していく予定です。

# Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、  
市場に適応した価値ある製品を創出し、  
豊かな社会の実現と  
地球環境の保全に貢献するとともに、  
私たちの事業に携わるすべての人々が  
共に繁栄すること

速やかな本則市場への移行を目指し、  
みなさまのご期待に沿える経営を志向し続けます。



以上です。企業理念にある、市場に適応した価値ある製品の創出、その先にある豊かな社会の実現と同時に地球環境の保全への貢献を果たし、株主のみなさまをはじめとして、我々の事業に携わるすべての人々が共に繁栄していけるように、尽力していく所存です。その一環としても、速やかな本則市場への移行を目指すと共に、株式の流動性の向上と、個人株主作りに向けた資本政策を検討していく予定です。

今後ともみなさまのご支援の程、よろしくお願い致します。



本日は、ご清聴いただきましてありがとうございました。

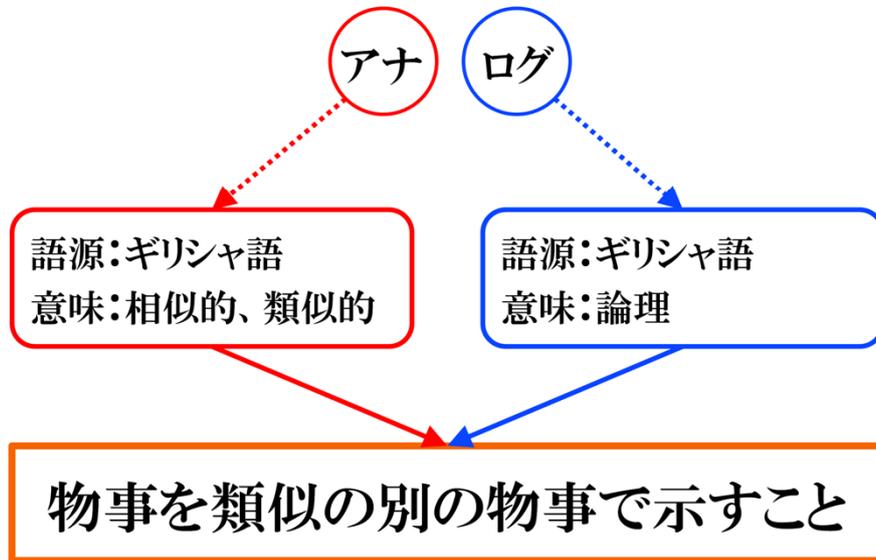
本資料に記載された内容は、2014年5月23日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。

アナログとは、「身の回りの物事を、自分にとってわかりやすい別の物事に置き換えて示す」という意味を持っています。



これまで先人たちは、様々な自然現象を自身のわかりやすい事象に置き換えることで自然の法則を理解してきました。



雨

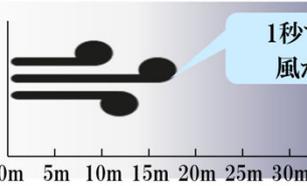


1時間でどれくらい雨が溜まったか

降水量  
(例:20mm)



風

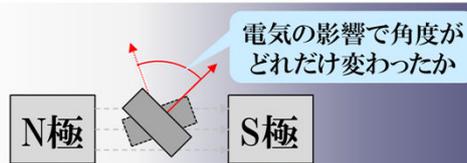


1秒でどれくらい風が進んだか

風速  
(例:17m/s)



雷

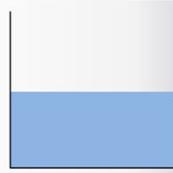


電気の影響で角度がどれだけ変わったか

電流  
(例:5A)

# 【参考】世界はアナログでできている (3/3)

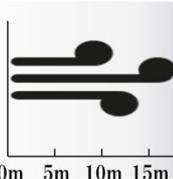
「デジタル」とは、アナログで示された物事を2進法の数字で示すことです。デジタル化がどれだけ進んでも、アナログがなくなることは有り得ません。



1時間でどれくらい雨が溜まったか

降水量 = 20mm

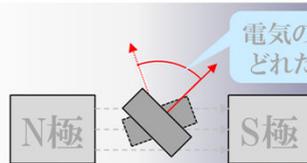
0101111010100101



1秒でどれくらい風が進んだか

風速 = 17m/s

1111100000100101



電気の影響で角度どれだけ変わったか

電流 = 5A

0011111111100000

デジタル化...アナログで示された物事を2進法の数字で置き換え